

## 4 施設のサービスロボットが連携 オンライン見学会を実施

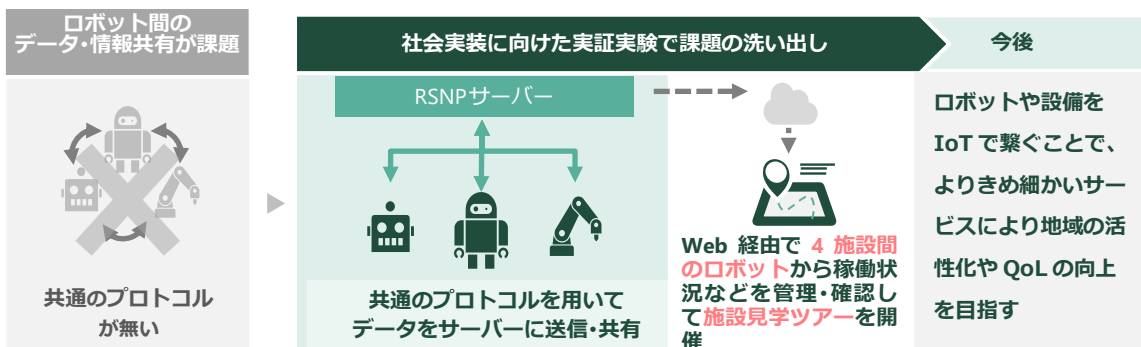
7月30日ユニバーサル未来社会推進協議会ロボットショーケースで実証実験

\* \* \*

ロボットサービスイニシアチブ (RSi) と芝浦工業大学 (東京都港区/学長 山田純) 工学部機械機能工学科松日楽教授は、7月30日ユニバーサル未来社会推進協議会ロボットショーケースにて、「コミュニティサービスロボット」のコンセプトのもと共通インターフェースで4施設 (深川江戸資料館、東京都立産業技術研究センター、会津大学先端 ICT ラボ、産業技術大学院大学) の各ロボットを連動させ、サーバー (青山学院大学附置情報メディアセンター協力) を強化し、ロボットを介したオンライン施設見学を実施します。

種類や機能の違う各ロボットを共通プロトコル (RSNP: Robot Service Network Protocol) でネットワークに繋ぐことで、ロボット・施設間の情報を共有できます。とくに今回は、共通の遠隔操作インターフェースにより、操作の共通化も図っています。コロナ禍での人との接触低減においても多様なロボットによるサービスが可能となります。

文部科学省ユニバーサル未来社会推進協議会ロボットショーケース  
7月30日 (金) 14:00-15:55 <事前申し込み締切: 7/28 12:00>  
②RSi 芝浦工業大学グループ「コミュニティサービスロボット」  
全8機関が先端ロボット研究成果をオンライン発表・デモ実施  
([https://www.mext.go.jp/a\\_menu/universal/mext\\_01601.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/universal/mext_01601.html))



## ■ 共通通信プロトコル RSNP を利用したロボットのIoT化

RSi ではこれまで芝浦工業大学、産業技術大学院大学などと協力して、共通ネットワークプロトコル「RSNP」を使い、ロボットのIoT化の社会実装を見据えた実証実験を重ねてきました。

現在、多様なサービスロボットが開発されていますが、さらに有用性を高めるにはIoT化によるロボット間の連携が必須です。例えば、固定の受付ロボットが来客データを共有、同時に自律走行型ロボットが案内役として迎えにくるなど、連携することで1機種では実現できないサービスを実施することができ、コロナ禍における非接触サービスなど社会の多様な課題に対しても対応が可能になります。しかし、異なるメーカーで開発されるロボットには共通の通信プロトコルがなく、そのデータ共有を困難にしています。そのため、RSiでは「ロボットサービスの標準化」を目指して、サービスロボット用の通信規格 RSNP を開発しました。7月30日のデモンストレーションでは、4機関協力のもと、前回課題となったサーバーへの負担、動画送信、同時アクセスなどを強化します。

The screenshot displays a website titled "Community Service Robot" with the subtitle "多様なロボットを共通仕様 (RSNP) でインターネットにつなぎ、生活を支援する。" (Connecting various robots with common specifications (RSNP) to the Internet to support life). Below the title, there are four sections, each featuring a robot and its description:

- Robot 01: 芝浦工業大学 案内ロボット「コンセルジュ」**  
深川江戸資料館では江戸時代に関する資料の展示、とくに、街並みが実物大で再現されています。コンセルジュロボットで企画展示室内の「こうとう浮世絵づくし」を見学します。
- Robot 02: 東京都立産業技術研究センター 自走式案内「新型Libra」**  
当センターではサービスロボットの開発支援や安全性評価を行っています。遠隔操作により、実験スペースおよび共同開発したロボットをご案内します。
- Robot 03: 会津大学 移動ロボット「メガロバー」**  
会津大学の産学連携活動の拠点先端ICTラボ (LICTIA) に展示された資料を、会津大学の産学連携でのロボット研究開発で開発した技術で制御する移動ロボットを通じて見ていただきます。
- Robot 04: 産業技術大学院大学 浄瑠璃ロボット「OSONO」**  
独自に開発した貴重な身体性をもつロボットOSONOです。リモート操作で、「正面・上・下・左・右」と動かすことができます。しなやかな動きと衣装を見て下さい。

At the bottom, there is a navigation menu with five items: 01 全体概要 (Overall Overview), 02 芝工大・深川 (Shibaura Institute of Technology / Fudai), 03 都産技研 (Libra), 04 会津大 (Aizu University), and 05 産技大 (OSONO). Logos for RSi, Shibaura Institute of Technology, and Aizu University are also present.

▲ロボットショーケースで実施する遠隔ロボットによるオンライン見学会の概要

## ■ 協力機関

- ・ ロボットサービスイニシアチブ (RSi)
- ・ 芝浦工業大学
- ・ 産業技術大学院大学
- ・ 東京都立産業技術研究センター
- ・ 会津大学
- ・ 青山学院大学附置情報メディアセンター
- ・ 株式会社日本アドシス
- ・ エボルブアイティワークス株式会社
- ・ 深川江戸資料館

(順不同)

## ■ 今後

芝浦工業大学では8月13日～15日に深川江戸資料館(東京都江東区)で複数ロボットの実証実験を計画しています。

## RSi (Robot Service initiative、ロボットサービスイニシアチブ)とは

<http://robotsservices.org/>

パーソナルロボットによる通信ネットワークを活用した魅力あるサービス(ロボットサービス)を簡単かつ便利に利用できる社会を目指し、相互運用性のあるロボットサービスについて関連団体と協力・連携しながら仕様の作成・公開、実証実験、普及促進を行うことを目的とした任意団体。日本ロボット工業会内に事務局があります。

## 芝浦工業大学とは

工学部／システム理工学部／デザイン工学部／建築学部／大学院理工学研究科

<https://www.shibaura-it.ac.jp/>

日本屈指の海外学生派遣数を誇るグローバル教育と、多くの学生が参画する産学連携の研究活動が特長の理工系大学です。東京都とさいたま市に3つのキャンパス(芝浦、豊洲、大宮)、4学部1研究科を有し、約9千人の学生と約300人の専任教員が所属。創立100周年を迎える2027年にはアジア工科系大学トップ10を目指し、教育・研究・社会貢献に取り組んでいます。

### 取材に関する問い合わせ先

ロボットサービスイニシアチブ 事務局 (日本ロボット工業会内)

E-mail [rsi@jara.jp](mailto:rsi@jara.jp)

学校法人 芝浦工業大学 経営企画部企画広報課 柴田

TEL 03-6722-2900 FAX 03-6722-2901 E-mail [koho@ow.shibaura-it.ac.jp](mailto:koho@ow.shibaura-it.ac.jp)

以上